

令和6年第8回菊池市教育委員会会議録

日 時 令和6年8月21日（水）午後1時30分
場 所 キクロス大研修室
出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	生 田 博 隆
教育委員	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	城 聡 子
教育委員	岩 根 美 紀
教育部長	前 川 幸 輝
生涯学習センター長	吉 川 良 二
教育審議員	藤 田 英 明
学校教育課指導主事	清 永 邦 宏
学校教育課指導主事	信 國 正 和
学校教育課長	倉 原 桂 一（欠）
学校給食管理室長	富 田 信 幸
文化課長	坂 本 憲 昭
生涯学習課長	川 口 克 明
菊池市立図書館長	松 寺 盛 親
社会体育課長	笹 本 聖 一
学校教育課課長補佐	岩 根 貴 史

17 / 18人

日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 報告案件
 - 報告第15号 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果と分析について（学校教育課）
 - 報告第16号 菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況（2024年7月末現在）（学校教育課）
5. その他
6. 閉会
7. 教育委員会各課からの事務連絡等
 - ①行事予定について
 - ②次回の教育委員会議
 - 令和6年9月25日（水）13:30 キクロス大研修室
 - ③その他

開会

音光寺教育長 ただいまより令和6年第8回菊池市教育委員会議を始めます。よろしくお願いします。

それでは、会議次第に従い、会議録の承認についてを議題とします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和6年第7回菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について異議はございませんか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 では、異議がありませんので、令和6年第7回菊池市教育委員会の会議録については承認することに決定します。

次に、教育長報告を議題とします。私より報告させていただきます。資料を御覧ください。

まず、1番目に動静についてです。

7月24日水曜日、イングリッシュデイキャンプをキクロスで行いました。小中学生合わせて32名の参加がありまして、子供たちがとても生き生きとしていました。今回は終日行いましたので、最後のところで、英語でやったことを紹介するところまでやりまして、とてもいい内容でした。次年度もその方向で考えていきたいと考えております。その後、共同募金の審査委員会に参加しております。夕方に菊池高校の「小学校児童への学習支援」の閉校式がありましたので参加しております。十数名の小学生が参加し、高校生からマンツーマンで指導していただいて、2日間の学習支援がとてもいい時間で充実していたということでした。

7月26日金曜日、市内小中学校の英語担当者会議がありました。

27日土曜日、菊池市人権同和教育研究大会があっております。

28日、みんなのSDGsフェスティバル。小学校が5校、中学校1校、発表しました。とても内容がよくて、参加者は充実していたということでした。また、企業関係のブースもたくさんありまして、午前中で相当な数の参加者がいたということで、午後から多少少なくなりましたが、とてもいいフェスティバルができたということです。

8月1日、菊池市子ども議会。委員の皆さん大変お世話になりました。とてもいい内容だったと思っております。その後、中体連の九州大会・全国大会出場者の市長表敬があっております。

8月2日、菊池市教育委員会の初任者並びに2年目・3年目の研修を行いました。菊池市と菊池警察署の連絡協議会。

4日、菊池ふれあいレガッタ大会ときくち童謡唱歌祭が行われております。

8月5日、ESDティーチャープログラムの2回目、6日が庁議、8日が総合計画行政評価に係る内部評価委員会を行っております。

8月10日、旭志支部の夏祭りとはなりの夏祭りに参加しております。

18日が熊本県の少年少女児童合唱祭が文化会館で行われました。菊池市からは少年少女合唱クラブが参加しております。文化会館が満席になるぐらい、県下

から8団体参加しております。

19日、庁議。20日、市長記者会見と月例会、教育部と旭志支部との学習会が夜に行われております。

8月21日、社会教育委員会議と菊池市教育委員会議です。

2番目の市内校長会議の連絡事項ということで、今回校長先生方の出張と重なりましたので、あさって行う予定にしております。そのときに話す内容ですけれども、県中体連での活躍ということで、別紙の3ページを御覧ください。

県の中体連大会で、個人の優勝が3部門と団体が1、団体は県で優勝しております。菊池南中学校の岩崎さんが空手の組手で個人で優勝しております。

剣道の女子個人戦で旭志中学校の水上さんが優勝。

柔道の女子70キログラム超級で泗水中学校の住野さんが優勝しております。

団体としましては、新体操の菊池市新体操クラブで南中と泗水中の子供たちが県大会で優勝しております。その後、新体操は九州大会で2位ということで、全国大会まで出場しております。

また個人戦では、剣道の水上さんと柔道の住野さんが全国大会に出場し、活躍してくれているところでございます。

パリオリンピックでも感動する場面が多かったので、ぜひ学校でもそういう話をして、スポーツのすばらしさを伝えていただきたいと思いますと思っております。

次に、SDGsフェスティバルと子ども議会とプラチナ未来人材育成塾に中学生が参加しております。子供たちはとても意識が高くて、将来性を感じるということで話をしたいと思えます。

次に、第46回「少年の主張」熊本県大会で、菊池郡市代表に菊池北中学校の松永さんが出場することになりました。8月31日の天草市民ホールで行われます。

教科書採択については、大変お世話になりました。決まったということでお礼を言いたいと思っております。

次に、国際交流事業で、大津町のお子さんがアメリカのプールで溺れて亡くなるという事案が起きていますし、大津で高校生が川で溺れるというような事案があっております。全国でもこういった子供たちの水難事故が相当多かったので、改めて水難に対する対応をしていただきたいと思いますということで、お話する予定です。

2番目の連絡事項です。まず、安心、安全な学校づくりのためにということで、立秋が過ぎましたが、まだまだ暑くて、熱中症等に対策が必要です。体育の授業中にプールサイドを走らせて、足の裏をやけどするような事案等もあっております。そういった指導のやり方等もしっかり見ていただきたいと思います。

それから、これだけ暑いので、昼休みの体育館や運動場の使用、そういったものを十分考慮するようにお願いしようと思っております。

今後、台風・大雨等ですね。また、新型コロナの感染が7月に急増しております。少しは下がってきておりますけれども、学校が再開されたときに、まだ感染対策が必要ということでお願いしたいと思っております。

それから、県北の中学校で盗撮事案があっております。これはテレビで報道が

ありましたが、やはり校内巡視を徹底していただくということと、学校へのスマホの持込みは基本的に禁止になっていますので、その辺のところを再度確認していただきたいということで話をします。

学力向上については、全学調の調査結果が出ました。残念ながら、小中学校とも県平均を下回ってしまいました。12月の県学調で県平均を上回るところが結構多かったのですが、春休みの間の学習が不足していたんじゃないかなと考えております。今後もここに書いてございますプロジェクトチームを校長会で立ち上げてもらっていますので、対応していきたいと思っています。

I C Tを生かした家庭学習や授業での活用をもっとしていただくこと。

それから、アンケートからの基本的習慣がまだ身についていない子供たちが多いということで、今後P T Aとの協力を図っていきたいと思っていますところ。詳しいことについては、また後ほどお話をします。

よむYOMUワークシートを後期も活用したいということで、1人300円必要になるということで話をしております。

3番目のいじめ・不登校対策については、長期休業明けが自殺や不登校が増えますので、気になる子への働きかけをお願いしたいということです。

人権教育の啓発・充実については、菊池市の市同研が、とてもすばらしい先生方の実践レポートがありましたので、今後の市の参考にしていただきたいこと。

不祥事防止については、県北の教頭先生が昨年度に人身事故を起こされて、処分を受けていらっしゃいます。落ちたスマホを拾おうとして、不注意による人身事故ということでしたので、くれぐれも運転中のスマホ等はしないように話をしているところです。

その他としまして、東京応用化学株式会社から、読書感想文の図書の寄贈が各小学校に5冊ずつあっております。理事長の藤嶋さんに、昨年度、菊池南中と北中校区の小学生に話をさせていただきました。この藤嶋理事長さんはノーベル賞の候補者になっていらっしゃる方ですので、ぜひ市内の子供たちにお話を聞かせたいということで、泗水地区と七城・旭志地区の5・6年生対象に、今後10月あたりに講演会を予定しているところです。

伝統芸能の発表会を2月頃に予定しています。各学校で神楽や狂言などをされていますので、そういう発表会を考えております。

今年度も吉田道雄熊大名誉教授に、9月6日金曜日に校長先生方へ講話をしていただく予定にしております。

次に、今後の予定ですけれども、23日が市内小中学校長会、24日がコックファームレガッタ大会、25日日曜日「菊池氏遺跡」国指定記念シンポジウム、泗水ホールで行いますけれども、今350名ぐらい参加希望がありまして、ほぼ満席になるんじゃないかと、それぐらい反響が多いです。

26日が前期後半の開始になっております。

27日が市議会の本会議が開会。29日、七城小学校総合訪問。委員の皆さんにはまたお世話になります。よろしくお願いします。

30日がサマースクール。

9月2日、市議会本会議予算決算常任委員会。
3日から5日までが一般質問、3日の夜に県民体育祭の結団式があります。
6日が市内校長会議、吉田道雄熊大名誉教授の講話を入れております。
9日月曜日が市議会の一般質問と管内教育長会議が入っております。
10日から13日までは、市議会の常任委員会が入っております。
12日が市内小中学校長会議、17日火曜日が庁議とSDGs推進会議、菊池の風推進事業では、菊之池小学校2年生の藤川先生が授業されます。
9月18日が教育支援委員会。
9月20日が高校魅力化の取組に係る意見交換会と、21日土曜日が白龍旗小学生野球大会が七城グラウンドで行われます。
24日が行政改革推進本部会議、予算決算常任委員会と、夜に市のPTAの合同委員会が予定されておりますので、そこに参加する予定にしております。
9月25日が教育委員会と、終了後は、市長と教育委員との意見交換会が予定されております。
以上です。
では、ただいまの私の報告について、何か御質問等ございませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 ないようですので、教育長の報告はこれで終わります。
それでは、次に報告案件に入ります。
報告第15号、令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果と分析についての説明を事務局よりお願いします。
清永指導主事。

清永学校教育課指導主事 よろしくお願ひいたします。令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について報告をいたします。
この調査は令和6年4月18日に実施したもので、市内の小学校6年生児童と中学校3年生の生徒が受験したものでございます。
調査の内容は教科に関する調査として、国語と算数、数学が行われました。
また、質問調査として、児童生徒に対する調査と学校に対する調査が行われました。その結果について、資料を基に御説明いたします。
まず、結果分析の資料の中にある2ページ、教科に関する調査の結果概要から御説明します。
小学校の平均正答率ですが、国語、算数とも全国や県の平均を下回っていました。昨年度と比較すると、県平均との差が国語、算数ともに1ポイント大きくなりました。
下にあります正答数分布グラフを見ますと、中間層の児童数の人数が少なくなっております。
3ページを御覧ください。

中学校3年生の平均正答率です。国語、数学とも全国や県の平均を下回っていました。

正答数分布グラフから、特に数学では全国や県と比較し、グラフの左側、正答数の少ない生徒の割合が高くなっていました。

4ページを御覧ください。

小学校国語と算数の正答率について詳細な結果を示しております。国語では領域別に見ますと、「話すこと・聞くこと」において県平均や全国平均との差が大きく見られました。一方、「記述式」の問題や「書くこと」の領域では、全国や県平均を上回っていました。

算数では全ての項目で全国や県の平均を下回りました。短答式の問題で全国や県平均との差が大きくなっていました。

5ページを御覧ください。

中学校の結果です。国語では全ての項目で全国や県平均を下回っていますが、小学校の結果とは逆に「書くこと」や「記述式」の問題で全国や県平均との差が大きくなっていました。

数学でも全ての項目で全国や県平均を下回っています。おおむね全国とは10ポイントほど、県とは6ポイントほどの差がある結果でございました。

6ページを御覧ください。

県平均と比較し、成果が見られた内容と課題が見られた内容を載せております。

まず、小学校国語です。全体的に記述式の問題はよくできていました。一方、物語の読み取りなどに課題がありました。

算数では、かけ算の求め方と答えを式や言葉を用いて説明する問題などに課題がありました。

7ページを御覧ください。

中学校の結果です。国語では、描写を基に短歌の内容を捉えることはよくできていましたが、その表現技法、この設問では直喩についての理解などに課題がありました。

数学では、ある事象が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することなどに課題がありました。なお、題意に合った思考ができていなかったり、無答であった生徒が多かったりしたことも課題でありました。

8ページから11ページにかけては、県平均との比較で大きな差が生じた問題を掲載しております。

先ほどお伝えした内容のうち特に課題のあった設問を1問ずつ掲載しております。

算数・数学においては、与えられた条件や成り立つ性質を基に説明することに課題が見られ、日常の授業の中で自分の考えを説明する活動を大切にしていくな必要があると言えます。

12ページと13ページの内容につきましては、後ほど内容を御確認ください。

14ページからは、児童生徒質問紙の結果でございます。

ここではそのうち代表的な質問事項について御説明いたします。まず、(1)

夢や目的意識については、中学校の「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定的回答が全国や県平均を上回っていました。

その下、(2) 自尊感情についても、中学校の肯定的内容が全国や県平均を上回っていました。

15 ページ、(3) 学校の楽しさについては、小学校、中学校とも「どちらかといえば、当てはまらない」の割合が全国や県の平均より高い結果でした。

16 ページ、(4) 先生が児童生徒のよさを認めることについて、小学校、中学校ともおよそ9割の児童生徒が肯定的に捉えていました。

(5) 家庭学習時間ですが、小学校、中学校ともに全国や県の平均より少ない結果でした。また、学習時間「30分に満たない」「全くしない」の割合が昨年度調査より増えている結果となっており、改善を図っていききたい項目です。

続いて、学校での学習に関する項目です。

19 ページ、(7) 授業中の発表についてですが、中学校の肯定的回答が県平均と同じ結果でした。自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表しようとする生徒の割合が増えていました。

20 ページ、(8) 主体的な学び及びその下にある、(9) 対話的、協働的な学びについても、中学校の肯定的回答が県平均を超えていました。生徒自身が自分の学びについて肯定的に振り返っていることが読み取れる結果となっています。

21 ページ、(10) ICT活用については、活用状況が全国や県の平均と比べ低い状況です。小学校と比較すると、中学校で「週3回以上」と答え回答した割合が菊池市の中では高くなっていました。児童・生徒が多様な方法で学ぶことができるよう、学習支援ソフト等の効果的な活用をお願いしているところです。

続きまして、各教科に関する内容です。

22 ページ、(11) 国語についてです。小学校では国語が好き、分かるに「当てはまる」と回答した割合は県平均を上回っていました。中学校では好きという設問に「分かる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定的回答が全国や県平均を超えていました。

続きまして、24 ページ、(12) 算数・数学については、好き、分かるについて「当てはまらない」と回答した割合が全国や県平均より高くなっていました。算数・数学への苦手意識が高いものと思われます。

なお、中学校に関してですが、分かるについて肯定的に回答した割合が昨年度より増加をしていました。

(13) 英語についてです。これは、小学校のみの設問でしたが、英語が好きについて肯定的な回答をした児童は全国や県の平均を超えていました。各学校での取組や、先ほどありましたイングリッシュデイキャンプ、またALTによる手厚い指導も関係しているかなというふうに考えております。英語が分かるについては、肯定的回答が全国平均と同程度でした。

最後に、学校質問紙の結果です。

27 ページ、(1) 家庭学習についての、72番と76番、家庭学習に工夫して取り組めるようなことをしていますかという設問について、肯定的回答が小学

校、中学校とも全国や県平均に届いていませんでした。

そして、30ページの(5)教職員同士の支え合い・小中共通実践事項については、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合っているということについて、高い肯定率が出ておりました。

一方、近隣の小中学校と教育課程について連携していますかという内容については、全国や県の平均より低い結果でした。

菊池市教育委員会としましては、現在、かけ算九九や四則演算の定着確認や、学習支援、英語担当者による研究授業の実施及び小中連携を進めております。本年度当初に掲げました基礎学力の向上、教師の授業力の向上、家庭学習の充実の三つの柱に基づきまして、各学校での取組を継続し、学力の向上に努めてまいります。

以上で報告を終わります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について、質疑及び御意見等はございませんでしょうか。よろしいですか。

これは年度初めの結果ですので、これを受けて今後各学校で指導していくということで、去年もそうでしたけれど、12月にある県学力調査でどれぐらい伸びるか。特に、正答率が40%未満の子たちをまずはしっかり底上げをするということで、校長会とプロジェクトチームをつくって、そこを徹底していくこととしております。

昨年度はその成果が出て、県学調では、6年生が全て、国語も算数も県を上回ることができております。何かございませんか。

では、よろしいですか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、次にまいりたいと思います。

報告第16号、菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況について事務局より説明をお願いします。

信國指導主事。

信國学校教育課指導主事 私からは、小中学校の不登校、いじめの状況について報告いたします。

お手元の資料の32ページを、御覧ください。

1段目のグラフは、登校及び不登校傾向のグラフとなります。不登校児童・生徒は7月末現在で、小学校19名、中学校で81名の計100名です。100名のうち76名が昨年度も不登校でした。

また、10日以上30日未満欠席している不登校傾向の児童・生徒は、小学校が41名、中学校が45名で、合計86名です。

次のグラフを御覧ください。

7月のいじめの累計報告は、小学校0件、中学校2件です。7月に新規で2件上がりました中学校のいじめ事案につきましては、学校において事実確認及び教育相談等を組織的に行い、お互いの生徒と保護者を含めた話合いの場を設け、現在収束しているとの報告を受けております。

続きまして、教育支援センター各教室の利用状況です。7月末現在で17名が利用しております。内訳は、小学校5年生が2名、6年生が1名、中学校1年生が6名、2年生が3名、3年生が5名となっております。

各教室におきましては、児童・生徒個々の通級状況に応じ、支援や指導を継続している状況です。

続いて、資料の33ページを御覧ください。

それぞれの教室の相談件数と相談内容の内訳を載せております。4教室の7月の相談件数は、菊池教室が18件、七城教室5件、泗水教室18件、泗水中校内教育支援センターが28件で、合計69件の相談等がありました。

今年度設置した泗水中校内教育支援センターの利用者が少しずつ増加しております。

次に、資料の34ページ、35ページを御覧ください。

心の教室相談の利用状況です。7月の心の教室の相談件数は、菊池北中3件、菊池南中34件、七城中7件、旭志中16件、泗水中56件で、合計116件となっております。

相談内容としては、どの学校においても前回の報告と同様に、不登校と友人関係に関わるものが多く見られました。また、それぞれの学校において相談件数の偏りが見られます。直接生徒からの相談が少ない場合には、積極的に関係職員と情報共有を行ったり巡回を行ったりして、生徒が発する小さなSOSを見逃さないよう、組織として対応しているところです。

それでは、資料の35ページの最後4段目のグラフを御覧ください。

菊池市のスクールソーシャルワーカーへの相談件数になります。7月は84件の相談でした。不登校に関する相談や学校と家庭との関係に関する相談が多く、主に学校からの要請に基づいて巡回支援等を行っております。

最後に、36ページになります。

学校支援コーディネーターの相談、対応件数は28件となります。こちらも不登校に関する相談が多く、不登校状況が続いている児童・生徒の置かれている家庭環境に関する内容が多くありました。

報告は以上となります。

音光寺教育長 では、今の報告について、質問や御意見等はございませんでしょうか。

なかなか不登校が減りません。また増えていくんじゃないかと感じています。また、この夏休み明けが増える可能性があります。

泗水中の校内支援センターの数が増えているということは、成果が少しずつ上がってきているのかなと思います。不登校の数も少しは減るのかなと期待しているところです。

よろしいでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、次にその他に入ります。
事務局から何かありますか。

事務局 その他はありません。

音光寺教育長 それでは、本日の委員会はこれで閉会いたします。お疲れさまでした。

— 了 —